

高校野球特別規則（2022年度版）改正の要点解説

（項目番号は2022年度からの新番号）

1. 高校野球で使用できるバット（1）④（一部改正）

2022年2月18日に適用された新基準のバットの使用が認められた。それにより、2022年度および2023年度においては、2001年秋から適用されている基準のバットと混在使用を認め、2024年度シーズンインからは、新基準のバットに完全移行することを明記した。

9. 投手が一度ある守備位置について時（一部追記）

規則適用上、〔間違いやすい事例〕を追記した。

20. 正式試合の成立（一部改正）

継続試合を採用する場合、球審によって打ち切りを命じられた試合（コールドゲーム）は、適用しないことを明記した。

22. 継続試合の取り扱い

（22として新たに制定、旧の23サスペンデッドゲームの取り扱いを削除）

高校野球ではサスペンデッドゲーム（規則7.02）は適用せず、天候状態などで球審が試合の途中で打ち切りを命じた場合は、継続試合として翌日以降に試合を行うこととなった。

継続試合の採用にともない、各大会の運用、継続試合の対象および継続試合の運用について明記した。

23. タイブレイク制度の採用（一部改正、旧22→23および⑥→⑤に変更）

各大会の運用において継続試合を採用しない場合、タイブレイク開始後に天候状態などで球審が回の途中で打ち切りを命じた場合は、引き分けとし、再試合を行うことを明記した。

27. 投手の投球姿勢（27として新たに制定、旧の27→28に変更）

投手の投球姿勢において、今年度の規則改正で規則5.07(a)(1)、【注1】の削除により、windアップポジションからの投球の際、自由な足（軸足でない方の足）の置き場所に制限がなくなった。また、5.07(a)(2)、【注1】の削除により、セットポジションからの投球の際、走者がいない場合は、必ずしも完全静止する必要がなくなった。

しかし裾野の広い高校野球では、投球姿勢の混乱および投球動作の乱れが生じる恐れがあるため、『従来通り』の運用とすることとして明記した。

その他 ・ 高校野球特別規則の追加、削除にともない、項目番号を変更した。

- ・ 規則改正にともない、高校野球審判の手引きP47【投手に関する規則】1、2に記載された5.07(a)(1)【注1】を削除し、それぞれ高校野球特別規則27に変更となる。

- ・ 上記同様に、5に記載された5.07(a)(2)【注3】を【注2】に変更および7に記載された5.07(a)(2)【注5】【注6】がそれぞれ【注4】【注5】に変更となる。